

1. 単元名 ふしぎ発見！！日本語を見つめ直し，日本語のよさを伝え合おう
 (「日本語を考える」「日本語について調べよう」)
2. 単元目標 日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方について書かれている内容を，問いと答えの関係を押さえながら読み取り，その読み方を活用して，自分の考えを広げたり深めたりするために必要な資料を読み取ることができる。

3. 単元設定の理由

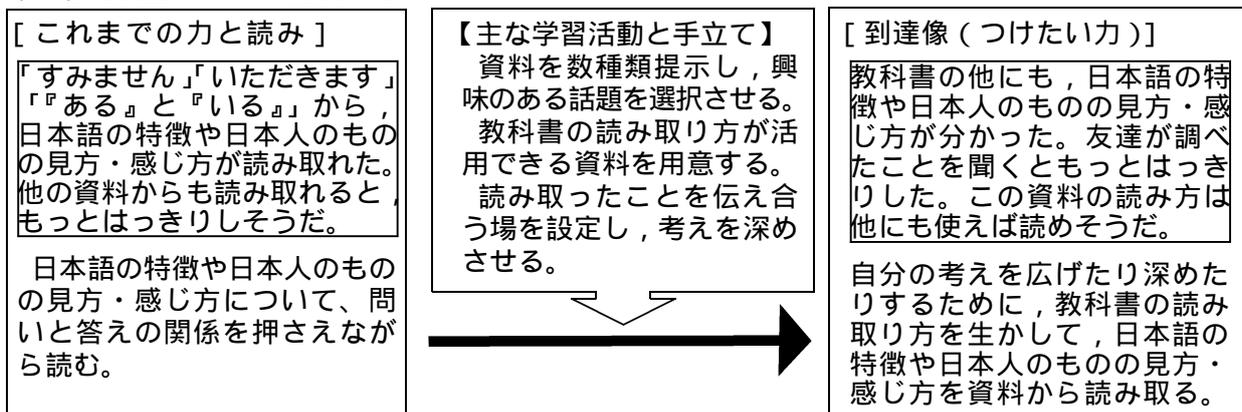
(1) 子どもと教材

子どもたちは毎日，日本語で様々な表現をしながら生活している。しかしその日本語の中には，外国人が聞くと不思議な面が多々あり，それは日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方が関わっていることをほとんど知らない。そこで導入としてまず，外国語 ALT に日本語の不思議さを子どもたちに話していただく。日頃自分たちが何気なく使っていた日本語が「不思議だ」と言われることで，本単元への興味をもたせる。教科書には，事例の説明が 問いの文 答え 日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方の3つの内容が書かれており，文章構成に目を向けたり，文ごとに見当を付けたり，文末表現を読んだり，内容につながる表現を探したりする読み方を繰り返し使うことで，内容をしっかりと読み取らせていきたい。また，まとめの段落に「～ははっきりしてくるように思われる。」と書かれている文末表現に目を向けさせ，筆者の考えについて他の事例を読み取る必要感をもたせる。そのために教科書以外の事例を資料として用意し，教科書で学んだ読み方を使って資料を読み取らせていく。このように，教科書を読み取った後に，そこで学んだ読み方を活用する場を設定することこそが，「くらしに生きることばをはぐくむ」ことにつながると考える。

これまでに子どもたちは，物語文や説明文の内容を読み取るための読み方を繰り返し学んできた。一度学んだ読み方を次の教材で使えないか意識するようになってきている。しかしその読み方を，読書や実生活の場で生かす姿はまだ見られない。

本単元は，今まで気づかなかった「日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方」に対する驚きから教科書で学んだ読み方を生かして他の事例を読み，調べたことをお互いに伝え合うことで，自分の言語生活を見直す姿が期待できる。また，「問い」と「答え」，「日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方」という文章の重要な点を的確に押さえる読み方は，社会科や総合的な学習の時間などにおける調べ学習で，本やインターネットから自分の課題に合う資料を探す際に生かされると考える。

(2) 到着像へと迫る教師の手立て



4. 指導計画 (全 12 時間)

段階	学習活動と問い	時数	教師の手立て()と評価()
出会う	<p>日本語について不思議に思っていることを ALT から聞く。 自分の経験をふり返り、「日本語の不思議」を調べる意欲をもつ。</p> <p>日本語のふしぎにはどんなものがあるか。</p> <p>単元の見通しをもつ。</p>	1	<p>ALT の疑問から自分の日本語についての知識をふり返り、「日本語の不思議」について調べ、考える意欲をもつ。</p> <p>ALT から日本語についての疑問を投げかけてもらう。</p> <p>ALT の疑問をもとに、これまでの経験について考えさせる。</p> <p>日本語の不思議にはどんなものがあるか、生活の中から考えようとしているか。</p>
とらえる	<p>読みの違いから、読みのめあてをもつ。 《読みのめあて》</p> <p>「日本語を考える」の筆者は、日本語のどんな特徴に気付いて、どのようなことを考えたのだろう。 予見を考える。</p> <p>学習計画を立てる。</p> <p>3つの事例を読み取る。</p> <p>最終段落を読んだり資料を読んだりして、他の事例を読む意欲をもつ。</p>	6	<p>日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方について、問いと答えの関係を押さえながら読む。</p> <p>題名と冒頭から話の内容を想像させたり話題提示文に着目させたりする。</p> <p>問いの文と答え、日本語の特徴・日本人のものの見方・感じ方が分かる文にサイドラインを引かせる。</p> <p>最終段落の文末表現に着目させたり、読み確かめで残った疑問を確認したりして、日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を詳しく調べたいという意欲をもたせる。</p> <p>他の資料を読みたいという感想をノートに書いているか。</p>
見抜く	<p>他にも日本語のふしぎを読み取ると、日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方がはっきりしてくるか。</p> <p>教科書の事例から、読み取り方を確認する。</p> <p>自分の課題にあった資料を選び、日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を読み取る。</p> <p>読み取ったことを交流し、日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方についての考えを深める。</p>	2 本時	<p>「日本語を考える」の3つの事例の読み取り方を生かし、選んだ話題から日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を読み取る。</p> <p>文章構造に着目したり、文ごとに見当を付けたり、文末表現を読んだり、内容につながる表現を探したりする読み取り方を確認できるよう、既習掲示物に残しておく。</p> <p>様々な話題の資料を用意し、自由に選択できるようにする。</p> <p>既習の読み方を生かし、自分の考えを広げたり深めたりするために必要な資料を読み取る。</p> <p>既習の読み方を生かして日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を読み取り、ノートに書きまとめているか。</p>
生かす	<p>日本語の特徴について調べたことを伝え合うことができるか。</p> <p>資料から読み取ったことをもとに、発表原稿を書いたり提示資料を作ったりする。</p> <p>発表の練習をする。</p> <p>発表会で伝え合う。</p>	3	<p>教科書の例を参考に、資料から読み取ったことを伝え合うための発表原稿、提示資料を作らせる。</p> <p>事実と感想・意見を分けて発表原稿や提示資料を作っているか。</p>

5. 本時案 (8 / 1 2)

(1) 目 標 文章の内容を的確に押さえるために，問いとその答えを考えながら日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を読み取ることができる。

(2) 過 程

学習活動	分	教師の手立て	子どもの具体的な姿
<p>前時までに子どもたちは，日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を，3つの事例から捉えているが，それを他の例からも読み取りたいという意欲をもっている。</p>			
		資料を選んだ理由を発表させ，本時のめあてをもたせる。	・自分の課題から，資料を選んだ理由を確認する。
		資料から，日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を読み取ろう。	
1. 既習学習を振り返る。	5	既習学習を振り返らせながら，資料の読み取り方を確かめる。 ・文末表現を読んだり，接続語を探したり，内容につながる表現を探したりする読み方を確認する。	・既習学習から，読み取り方を想起する。
2. 資料を読み取る。	30	前時までに使った読み取り方を確認し，問いに対する答え，日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を読み取らせる。 ・選んだ資料ごとにグループを作っておく。 ・問いに対する答えの文や，日本語の特徴，日本人のものの見方・感じ方を個人で読み取らせた後，読み取った内容をグループで話し合わせる。その際，どの言葉を根拠としたのかを交流させる。 ・資料ごとに，読み取った内容を全体で発表させて確認し，その内容について問い返したり解説を加えたりしながら解釈を深める。	・答えの文についてグループで確認した後，学習プリントに書く。 ・確認した読み方を使って日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を読み取る。 ・読み取った内容を教科書の例や生活経験と比べて発表する。
3. 読み取ったことと感想を書き，本時のまとめをする。	10	全体交流をもとに感想を書かせる。 ・「自分の課題は，どのように解決されたか」「日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方について調べ，どう考えたか」という視点で感想を書かせる。 ・机間指導で代表児を決めておき，意図的に指名する。 次時の意欲と見通しをもつ。 ・本時で読み取った内容を比べて共通点を探したり生活経験を振り返ったりして，日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を深めることを確認する。	・本時を振り返り，感想を書く。 ・感想を発表し，次時学習への意欲をもつ。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">日本語の特徴や日本人のものの見方・感じ方を深めよう</div>			